

～風だより～

# こうのとりの

第4号  
2023.1.1

越前市エコビレッジ交流センター  
(公財) 日本鳥類保護連盟福井県支部

## 第5回 北陸ブロック・連盟京都

### 活動交流会に参加して

日本鳥類保護連盟福井県支部 岡部 巴

十一月四日に、同交流会が富山県支部主催で、連盟本部より名執専務理事の参加を得て、氷見市九殿浜温泉 「ひみのはま」 に於いて開催されました。

福井県支部からは、林会長 野村事務局長 岡部の三名が出席、連盟京都の高桑会長は北陸線の貨物列車脱線事故により遅れての到着となりました。

議題としては、各支部のこれまでの活動報告が石川、福井、富山、京都の順に行われ、中でも石川県支部の風力発電施設の建設が話題となりました。

風力発電施設については専務理事の基調講演の中でも、今年の八月に取りまとめられた資料の中で、海ワシ類のバードストライクによる事故の説明があり関心のある話でしたが、石川県支部の話は想像を超えるもので、これまでは300KWのもの、最終的には3000KWのものが百八十基にもなるとの話で、様々の意見が出てとても充実した時間でした。



専務理事の話の中で気になったのが「環境影響評価が入った場合は必ず事業が起こせる」という事でした。

活動報告の後は、富山テレビの放送カメラマン 尾家氏による「映像でとらえた富山の自然」ということで、ブロンズトキ、コウノトリ、トキ(264)などの様々な写真を映像で見せて頂きました。

連盟京都の提案でもっと広く支部交流会を開催してはどうかとの話も出ましたが、帰路、車内で福井県支部はまだまだ未熟な団体で、

とてもそこまで交流は出来ないだろうとの結論に達しました。

それでも、コロナの影響で三年ぶりに開催された交流会に、お互いの活動を知ることの意義を改めて感じました。富山県支部の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。

(越前市)



# 越前市坂口地区のコウノトリ情報



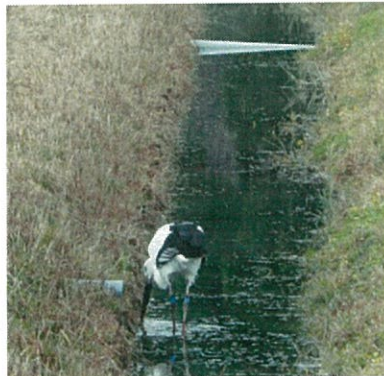
令和3年から当地区内にある人工巣塔（下中津原町）で営巣し、繁殖に成功しているななちゃん（J0078）を、最近チョコチョコ見かけます。里帰り？

餌が少なくなるこの時期、「今度の繁殖期まで戻ってこなくてもいいよ〜。暖かい所でお腹いっぱい食べておいで」と心の中で叫んでいるのに、この気持ち届かないのか、今日もまだいます。

不思議なことで、全国、50羽、80羽、100羽と群れを成して舞い降りている場所もあれば、単独で行動している個体もあります。平成29年に白山地区の安養寺町で放鳥した「かけるくん（J0168）」「ほまれくん J0169」のうち、かけるくんは1羽で、ほとんど和歌山県有田川近辺で生活しています。面白いですね。



11月20日



12月6日



12月7日（いずれもエコビレ和室から）

## 樹木のネームプレートづくり

エコビレと日鳥連県支部との共催で、坂口小の子ども達（坂口エコメイト）と学校裏山（ハッピー山）に生えている樹木に、ネームプレートを付けることにしました。

11月18日、林支部長と子ども達と一緒に山に入り、名前調べをしました。ネームプレートは雪が降ってからの子ども達の作業になります。



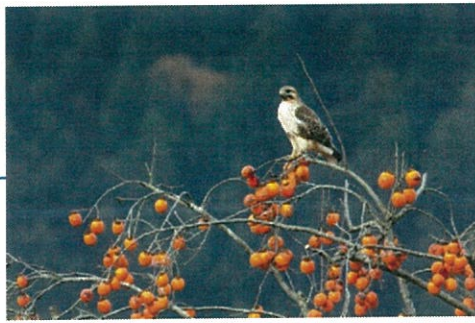
坂口の森づくりの話から

## 巣箱・餌台づくり

12月2日、巣箱と餌台作りをしました。初めてのこぎりや金づちを持つ子もいて、日鳥連のメンバーの手があったからこそ時間内に出来上がりました。

餌台は、教室から観察できる場所、雪が降っても餌の補給が楽にできる場所に、ということをお話して持って帰っていただきました。「どんな鳥がやって来たか報告してね」とお願いしました。





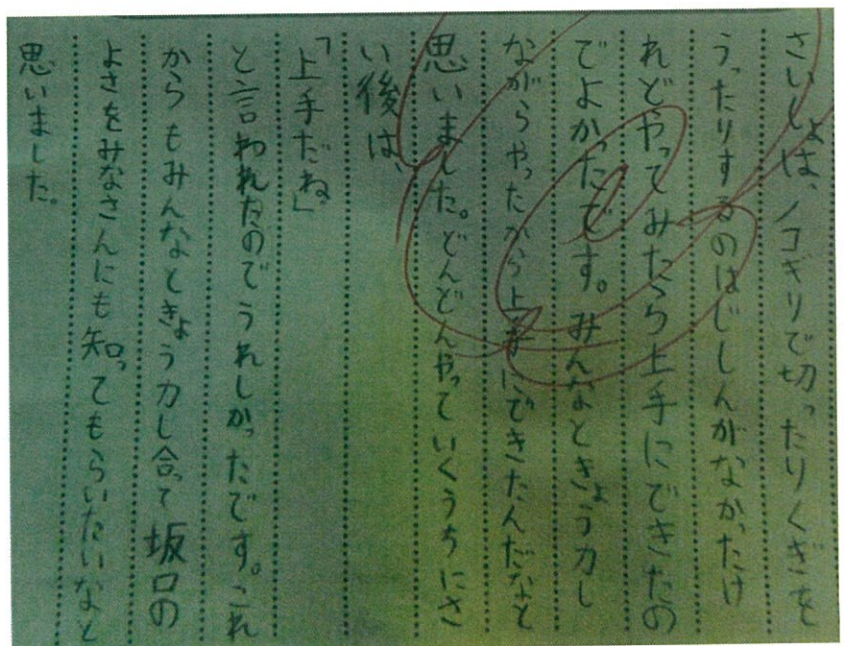
雪の便りがあちこちで聞こえるようになってきた頃、田んぼや野原の中に立っている柿の木のとっぺんや電柱にトビよりも白っぽい感じの猛禽類が止まっているのを見かけることがあります。それはノスリかもしれません。舞いがった時に翼の下側に黒いグルグル模様があるのが特徴です。名前の由来は樹上から獲物を見つけたときに、地面すれすれ（野を擦るように）に飛んで獲物を捕まえることから『ノスリ』と呼ばれるようになったそうです。

繁殖期には森林などで生活していますが、冬場は越冬のため農耕地や草原などに降りてきます。農作物を食べるネズミをエサにするので「農地の守り神」とも呼ばれています。

その体形はトビよりも一回り小さくズングリムックリしていて、じーっと止まっていることが多いので狩りが苦手そうに見えますが、実はトビよりも遥かに優れたハンターです。時には風を利用してホバリングしたりしながら、獲物を見つけると一直線に急降下し捕まえます。この写真のネズミを捕まえた際も、200 - 300メートル離れた電柱の上から一直線に雪の上を擦るように飛んでゲットしました。

冬場は皆さんの近くでもノスリを見ることができると思っていますので、ちょっと気にかけて見てみて下さいね！猛禽類と言ってもとてもかわいい姿の鳥ですので、きっと虜になるのでは・・・。

日本鳥類保護連盟福井県支部長 林昌尚



子ども達の感想がエコビレの大ホールに展示してあります

8月5日の朝、南越前町の何本かの川が決壊し、大変な被害がおきました。前回の福井豪雨の時も知人の家が何軒か被害に遭い、他人事ではなかったもの。今回は地元。生まれ育った地域の変わりように呆然と景色を眺めていました。幸い私の家に被害はなく、隣近所の復旧作業に参加しました。

連日の猛暑の中の作業は想像以上に大変でしたが、被災に遭われた人達の事を思うと涙が出ました。家や道路、庭の泥上げ作業をしていると、サワガニやアズマヒキガエルアカハライモリ等たくさんの生き物が出てきます。「ああ、こんな所にも被害に遭ってる子達がいる。」作業の合間に泥だらけのカブトムシを水で洗ったり、流れのない水際に放したりしていました。

普段はカジカガエルが鳴き、ゲンジボタルが飛び希少種がたくさん生息している清流ですが、1ヶ月以上茶色の水が流れ、その日の朝まで鳴いていたアカショウビンの声も聴かなくなっていました。人も生き物も住むところを奪われた今回の豪雨。いつの日かまた同じ穏やかな日常が戻ってきてくれるよう願うばかりです。 (田川 由美)



### 編集後記

あれよあれよという間に1年が過ぎました。3月の臨時総会から、福井県支部として新スタートを切りました。やりたいことはいっぱいありますが、一つひとつ丁寧に進めていくことに。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いします。(野村)

本年も何卒よろしくお願い申し上げます



越前市エコビレッジ交流センター 【住所】 福井県越前市湯谷町 25-25-2  
Tel/fax 0778-28-1123 E-mail [info@ecovilg.jp](mailto:info@ecovilg.jp)  
URL <http://www.ecovilg.jp/>

